

プレスリリース

2012.11.13

西友、2013 年の新規出店計画を発表

新規出店の加速とともに、より快適なお買い物環境を提供する新たな取り組みを開始 今後の新店モデル店舗「西友府中四谷店」を 11/14（水）オープン

合同会社西友では、成長戦略の一環として新規出店を加速しており、2012 年度出店の 7 店舗に続き、2013 年度も積極的に新規出店を実施してまいります。また、お客様により快適なお買い物環境を提供するための新しい取り組み事例を多数取り入れた、今後の新店のモデル店舗となる「西友府中四谷店」を 11 月 14 日(水)にオープンいたします。

西友では 2006 年から、小型、中・大型店約 300 店舗の既存店の改装を進め、EDLP/EDLC (Every Day Low Price / Every Day Low Cost) 戦略の基盤構築のために、大量陳列が可能なウォルマート什器の導入、通路幅の拡充など、店舗オペレーションの効率化を促進する「標準化」に全力を傾けてまいりました。この改装や一連の EDLC 施策が奏功し、EDLP 戦略による低価格商品の提供がお客様の支持を得て、既存店売上高前年比は堅調に推移しています。

今後の更なる成長に向け、西友では今年から新規出店を再開。3 月には 3 年 4 ヶ月ぶりに西友が得意分野とするスーパーマーケット店型（小型店）での新規出店を実現し、今年度中に計 7 店舗の出店を計画しています。2013 年度は、「新長田店（仮称）」（兵庫県）、「江戸川中央店（仮称）」（東京都）や東京都板橋区内への出店を始めとする新規出店をさらに加速します。また、これまで震災による被害のため営業を休止していた「台原店」（宮城県）、東久留米団地再開発のためロケーションが決定した「東久留米団地店」（東京都）もそれぞれ新装オープンいたします。

さらに西友では、これまでの店舗作りの大きなテーマであった「標準化」に加え、お客様により快適なお買い物環境を提供するための新しい取り組みを導入。11 月 14 日には、今後のモデル店舗と位置づけた「西友府中四谷店」がオープンいたします。

府中四谷店では、従来の店舗から壁・床・什器の色を変更、間接照明を効果的に採用することで、店内の雰囲気を優しく、洗練された空間となるよう一新いたしました。また、地震の揺れを低減し、落下防止に有効な「粘弾性ダンパー」を飲料什器に取り付けるなど安全面での工夫のほか、後方施設を含めた LED 照明 100%採用や、ノンフロン冷媒の冷ケース導入など、サステナビリティに対する取り組みも強化してまいります。

年内にオープン予定の「西友籠原店」「西友のぞみ野店」「西友取手駅前店」を始めとする今後の新店や改装店舗にも、店舗環境の改善やサステナビリティの視点を柔軟に取り入れてまいります。

【お買い物環境の向上】

- ・オフホワイトの壁面、サンドベージュカラーのセラミックタイル使用の床、シルバーカラーの Gondola 什器を導入することで、照明の反射効果による明るい売場を実現
- ・冷蔵冷凍ショーケースはブラウンカラーを採用し、優しい雰囲気の売場を実現
- ・LED スポットライトと間接照明を効果的に使用し、洗練された店舗空間を演出
- ・壁面のデパートメントサインを使用せず、シンプルな売場環境に

【安全】

- ・地震の際の飲料瓶の落下防止に有効な「粘弾性ダンパー」を飲料什器に設置【サステナビリティ】
- ・LED 照明を売場
- ・後方施設ともに 100%採用（後方通路照明に人感センサー導入）
- ・上記の取り組みや照度アップ効果により、基本照明の照明数を従来店舗の 1/3 に削減し、22%の省エネを実現・CO2 冷媒を採用した冷ケースを導入し、環境に負荷をかけない店作りに貢献
- ・扉付冷ケースを採用し、省エネと店内の冷えすぎ防止を実現
- ・エネルギーを見える化できる EMS（エネルギー・トータルマネジメント・システム）採用

4. 西友府中四谷店の概要

- ・京王線「中河原駅」、JR 南武線「谷保駅」「西府駅」から、それぞれ約 2 キロの距離に位置し、店舗周辺は今後マンション建設や戸建て住宅等の建設が予定され、人口の増加が見込まれるエリア。
- ・4 層の複合施設の 1 階部分に出店。取り扱い商品は生鮮食品、加工食品、デイリー食品、飲料、惣菜、日用消耗品、ペットフード、ヘルス&ビューティ商品、薬など。
- ・施設内に同時にオープンするホームセンター「コーナン」や家電量販店「ノジマ」、スポーツ専門店「スポーツデポ」（11 月末オープン）とのシナジー効果で広域からの集客も見込めるため、近隣では最大級となる 1,150 台の駐車場を設直。